

光栄の森

2022年11月 毎月1日発行 第171号
発行者 光栄プロテック 中川

11月に向けて

代表取締役 三田雅憲

朝夕の寒さが一段と厳しくなっています。社員の皆様には体調に十分気を付けて頑張ってください。

9月の終わりに当社は「健康宣言」をさせて頂きました。この宣言と取り組みは、社員の健康管理や健康づくりの維持・増進のみならず、生産性の向上にも繋がってきます。社員全員で盛り上げていきましょう。

又、近年の当社の特殊表面処理施工実績集「CORPORATE ACHIEVEMENTS」が、10月13日に上梓しました。社員全員にはお配りいたしました。当社の仕事をより深く知って頂くことと、プライドを持ってもらう意味でも参照してもらいたく思います。

先月は、採算を確保しつつも人や社会の役に立つこと、又利他の気持ちの大切さを学びましたが、今月は「目標」というワードを稲盛さんから学びたく思います。

「社長は、自社の社員が何を指すかというビジョン、目標を高く掲げ指し示さなければなりません。方針を掲げ、その先にどのような未来があるのかという展望を描き、その実現に至る具体的方策までを示し、人々を導くことが求められるのです。目標を実現する過程では様々な障害がありますが、強い意志で組織を一つに束ね、その思いと力を結集して目標を達成するのです。ビジョンは夢のあふれるものでないといけません。同時に実現するための計画を具体的に立ててその目標数字を定め、一人一人の社員がその目標に向かって頑張ることです。そして一年間の通期目標だけでなく次月・次年の目標も明確に設定していかなければなりません」

と話しておられます。当社のコンサルタント平石先生も同様に数値目標や期日（締切）の大切さを日頃より教授して頂いていますが、まさにこのことと同じです。目標がないから集中力が不足したり、気づきがないのです。人生の目標（仕事に対する）がなければ、年齢を重ねた時に自分に残るのがほとんどありません。今だけを見ているのではなく将来を見据えて今何をすべきかをぜひ皆さんに考えてもらいたく思います。

10月1日に当社でも来年入社の方の内定式が執り行われましたが、この若者たちに「先輩のような大人になりたい」と心の中で思ってもらえるような人格づくりを共にしていきたいと思えます。

11月からも忙しくなってくると思いますが、各工場が共に協力し合ってお客様や関係する人々に喜びを与え、そして自分たちも喜び合えるようになってもらいたく思います。

又、長期休職していたH君が11月より復帰する予定です。全員で迎えてあげてもらいたく思います。